

北九州市サステナブル経営認証制度

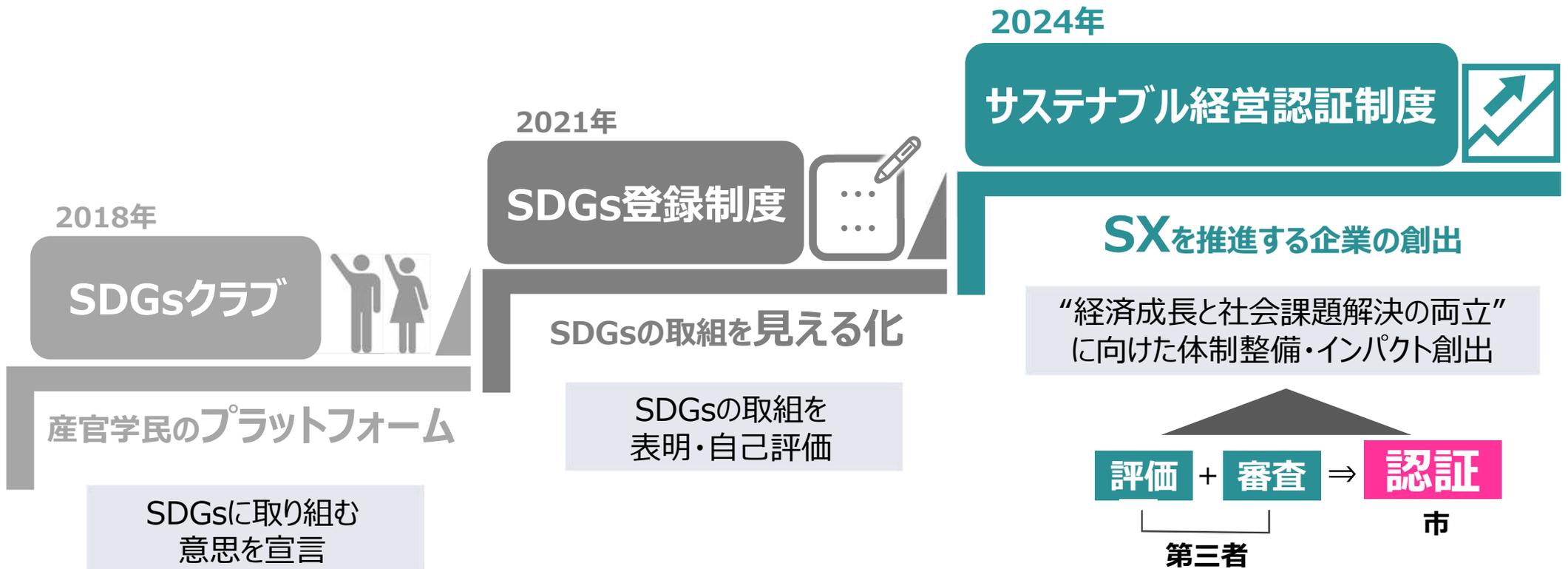
少子高齢化や産業構造の変化といった課題に加えて、地球温暖化等のグローバルな課題が生じ、北九州市を取り巻く状況が厳しさを増す中で、このような課題に対応しながら活性化を図るためには、市域の社会経済の基盤となる企業等の成長・活性化が不可欠であり、市内企業がサプライチェーンや消費者等から「選ばれる企業」となるためには、サステナブル経営を実践すること及びそれを発信していくことが求められています。

そこで、北九州市は、国内外で高まるE S G投資・インパクトファイナンスの潮流などを踏まえ、信頼性・透明性ととともに、地域性も考慮した企業評価の方法に加え、金融との具体的な連動を確保するために「北九州市サステナブル経営認証制度」（以下「認証制度」という。）を構築しました。

この認証制度により、市内におけるインパクトファイナンスの導入を進め、民間の投融資を呼び込むとともに、市内企業等のS X（サステナビリティ・トランスフォーメーション）※を推進し、サステナブル経営の浸透を図ることで、企業等の潜在力の開花、そして、「選ばれる企業」への変革へとつなげます。

※ 経済産業省が提唱する、企業が稼ぐ力を継続するための企業と社会のサステナビリティを重視した経営への変革

北九州市の段階的な取組

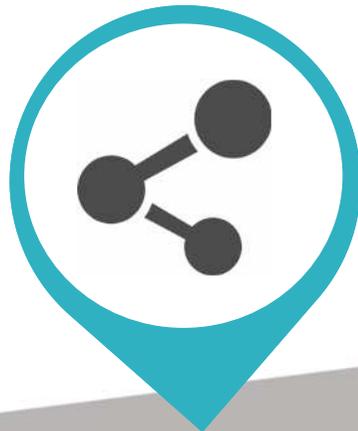


認証制度のロードマップ

01 自己診断・分析
優先課題特定



02 ロジックモデル
作成



03 認証
(第一段階)



04 認証
(第二段階)



毎年の
進捗報告



認証制度の概要（1）

企業等の課題意識

把握している課題
対応している課題

顕在的



潜在的

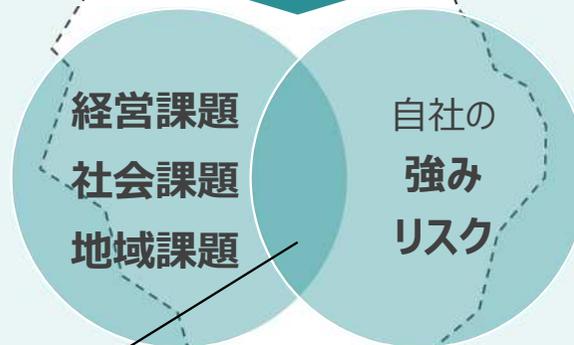
気づいていない課題
対応が困難な課題
▶ 成長を阻害する要因

【認証制度】中小企業やスタートアップ企業等による自己変革

国際基準を踏まえた北九州市独自のフレームワーク

SXが必要な企業を取り巻く環境や課題を
企業自身が網羅的に把握・分析

ESG対応の自己診断・バリューチェーン分析



優先課題の特定

KPI・行動目標設定

ロジックモデル作成

企業等が自ら取り組み、市が伴走支援

有識者

評価
・
審査

金融機関
大学教授
コンサル事業者
社会保険労務士
中小企業診断士
等

北九州市

認証

認証制度の概要（2）

	認証条件	評価方法
<p>認証 (第二段階)</p> <p>インパクト創出</p>	<p>『インパクト創出に対する評価』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インパクトのモニタリング・年1回の報告（ロジックモデルに沿った進捗報告） ・インパクトの創出 <p>※インパクトとは、体制整備で企業が特定した、自社の本業を通して生じた社会的・環境的变化や効果のこと。</p>	<p>審査会（有識者）の審査</p>
<p>認証 (第一段階)</p> <p>＜体制整備＞</p> <p>＜自己診断＞</p>	<p>『社会・地域課題に沿った自社の優先課題の特定、目標設定』</p> <p>本業で優先的に取り組む社会・地域課題の特定、課題解決の目標・KPIの設定、ロジックモデルの作成等</p> <p>『チェックリストによる自社の現在値の認知』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての必須項目への準拠 ・全ての一般項目に対する現在値の把握 ・必須項目に対する改善のための対策行動を記載 	<p>審査会（有識者）の審査</p> <p>+</p> <p>評価員（有識者）の評価・伴走支援</p> <p>【現地調査】</p>

認証制度の効果

—— 現状（課題） ——



中小企業やスタートアップ企業による
ESG投資などの活用が困難



S Xの観点から、企業も
社会課題の解決に取り組む必要



公的資金（補助金等）
を活用した事業がメイン

—— 取組後（解決） ——



地域金融機関と連携した
北九州市独自のフレームワークで支援



社会課題を踏まえた経営
の実践による**企業の成長**

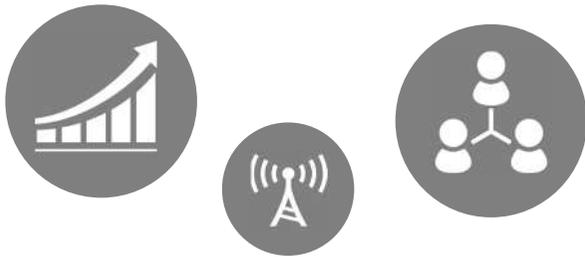


金融機関等の投融資の促進により、
「民間資金」活用へ変革

認証制度に取り組むメリット

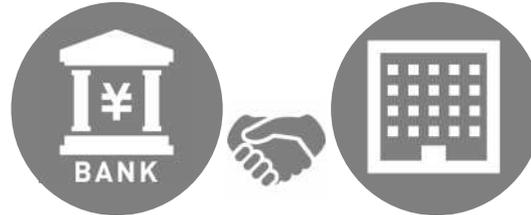
企業の成長

- ◎ 専門的知見を持つアドバイザーによる**伴走支援**
 - 社会課題を踏まえた**新規商品・サービスの開発**
- ◎ 北九州市や専門家による**お墨付き**
 - 取引上の**リスク軽減**
 - **人材確保**



金融機関等による支援

- ◎ 金融機関や投資家による**投融資の促進**
(ESG投資やインパクト投資)
- ◎ サステナビリティパフォーマンス向上のための金融商品との連携
- ◎ 市内21の金融機関による支援
(市と個別協定締結の金融機関)
 - **事業資金の確保**



国による支援

- ◎ 国の**利子補給制度**の活用
 - 認証制度に取り組む際に必要な融資について、**利子負担が軽減**

